

## 沖縄の状況と県議選支援

# 玉城デニー県政を支える「オール沖縄」の躍進を

## = 今後の取り組みについて =

沖縄の辺野古新基地をめぐるたたかいと、5月29日告示、6月5日投票でたたかわれている沖縄県議選について、現地からの情報をお知らせし、今後の取り組みについて提起します。

右記の沖縄県統一連・瀬長事務局長の報告にあります。沖縄においても新型コロナウイルスをめぐる厳しい状況があり、辺野古の座り込みも中止されています。また、県議選についても通常の選挙運動ができない状況にあります。玉城県知事は、県外からの渡航の自粛を要請しています。

こうした状況を踏まえ、沖縄県統一連とも協議したうえで、当面右記のように対応をお願いします。



辺野古埋め立て工事

1. 沖縄県議選支援者の現地派遣については、当面控えてください。
2. 沖縄県議選については、5月7日以降、沖縄県統一連と協議の上、電話で沖縄県民に支持を訴える等の活動を提起する予定です。現地支援の可否についても最終的に判断します。

## コロナ感染で辺野古工事は引き続き中断

辺野古埋め立てに関わる業者の従業員1人が新型コロナウイルスに感染し、17日から建設工事は中断しています。玉城デニー知事は同日、菅義偉官房長官に改めて辺野古の工事の中止を求めています。

日本全国が緊急事態宣言下にある状況で、不要不急の工事だけを続けさせることは、沖縄県民の民意を踏みにじるものです。工事を請け負っている大林組、大成建設は、すでにコロナ感染拡大で全国の工事を基本的に取りやめています。

## いのちを優先し、平和も守るために ~オール沖縄会議の決断~ 沖縄県統一連事務局長 瀬長 和男

沖縄県では、4月以降の新型コロナウイルス感染拡大が顕著で、玉城デニー知事も「感染確認地域」から「感染拡大警戒地域」に移行しているとコメントしています。

このような緊迫した状況でも辺野古新基地建設関連工事は、今までと変わる事無く続いています。国交大臣は公共工事について、可能な限り中止する事を求めましたが、沖縄防衛局は業者から中止を求める声が無かったという理由で工事を続けています。しかも、キャンプシュワブ工事用ゲート前にいる警備員らは誰一人マスクを着用せず、ゲート前に整列しています。工事車両が入るタイミングでは、50人程度の警備員が横2列の人の壁をつくり、座込む市民の排除が終わるまで、「密接」したまま立ち続けています。国は「密閉」「密集」「密接」の「3密」状況を回避するよう国民に呼びかけているにも拘らず、ゲート前ではマスクもしない警備員の垣で座り込む人々に「密集」「密接」の感染リスクを負わせ、抗議行動の委縮を狙っているようですが、私達はひるむことなく座り込みを続けてきました。

県内での感染拡大が続いている為、玉城知事は緊急事態宣言が出されている期間中、県外からの感染者の流入を抑える為、7都府県を含む県外からの渡航自粛を決定し、県民にも感染予防への協力を求めています。

オール沖縄会議では、感染リスクから反対運動参加者のいのちを最優先に守る為、たたかいは行われている全ての現場への結集を当面見合せ、監視行動に切り替える事を決定しました。期間については玉城知事と歩調を合わせ、当面5月6日までとしています。

感染収束への道筋は全く見えておりませんが、それでも沖縄県議選は予定通り実施されます。大浦湾の地盤改良工事は防衛局は、近く県に設計変更申請を提出する見通しですが、県が承認する事はなく、埋立承認撤回と同様に司法での争いとなるでしょう。今回の県議選は、新基地反対の先頭に立つ玉城知事を支える与党県議団の過半数を維持し、建白書実現の道を更に強化する為にも絶対に負けない選挙です。

統一連では、今回の県議選挙でも全国支援をお願いする予定でしたが、コロナウイルスの状況もあり、可能な支援について検討中です。状況次第では電話掛けなどの限られた方法のみとなってしまいますが、辺野古新基地建設阻止の為、皆様のご支援、ご協力、宜しくお願いします。